



- 佐那河内村立図書館（農振センター3階）
- 開館時間 / 平日 9:00～12:00 13:00～17:00
- 閉館日 / 土・日・祝日・年末年始
- お問い合わせ 教育委員会 図書館担当

新着本（9月～10月） のお知らせ

9月から10月にかけて、新着本を追加しています！今回は新着本の中から、アンケート用紙にご記入いただいた本の一部をご紹介します。全145冊を順次追加していますので、お気に入りの本を見つけに図書館へお越しください。



書籍名	著者名
小説の神様	相沢沙呼
陰陽師阿部清明我、天命を覆す	結城光流
カラフル	森絵都
小さなりゅう	長井るり子
ぼくモグラキツネ馬	チャーリー・マッケジー
100かいだてのいえ	いわいとしお
どろぼうがっこう	かこさとし
魔女図鑑：魔女になるための11のレッスン	マルカム・バード
妖怪ビジュアル大図鑑	水木しげる
よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑	大野萌子
藤井弁当ーお弁当はワンパターンでいい！	藤井恵
やせるダンス 楽しく踊るだけ!! 全身の脂肪をいっきに燃やす	竹脇まりな



読み合い朗読会 「伝えたい村の話」 佐那河内村史から

●67回は未亡人会と警察を読み合いました。●戦後、村では237人の人が未亡人となり、遺児を抱えた人もあって窮乏の日々だったことでしょう。その中において昭和25年「小波会」が結成され、生業や生活や技術習得の資金の斡旋で相互扶助の実を結んでいったようです。●警察。明治に名東郡に邏卒(らそつ・みまわりの意)出張所があったようです。と言っても名東郡観音寺村、今の国府町です。上佐那河内村、下佐那河内村に分かれていたころは、それぞれに宮前と高樋に駐在所が設けられました。昭和30年ごろですが、自転車では事件発生しても到着が遅れてしまうことが多く、村民の寄付を募り原動機付自転車を購入して捜査逮捕取締が迅速になったとのこと、よかった！交通規則を守らず車による事故も起こり始め交通安全自治会が設立されました。昭和34年に原動機付自転車の出張試験が県下初の試みとして実施されて、昭和40年までに

885人の合格者となりました。女性も颯爽と走っていたそうです。中辺に駐在所が統合されたのは昭和46年からです。●さて少し私的なことですが、地球温暖化を村にても感じる昨今。少し取り組めることはプラスチック削減かなあと。例えばペットボトルをアルミ缶やスチール缶に変えるだけでも、リサイクルに出しても半数以上は焼却されてしまう現状を変えることが出来ると思うのです。村のペットボトルの処理費用は年間で100万円以上かかり、アルミやスチール缶は収益となり30万円以上。村で飲料を出さなくてはならないなら、アルミやスチールに変えてはかかると思われます。地球温暖化ストップの一役にもなると思うのです。

ツリーベルズ 鈴木 昇・恵子

第68回読み合い朗読会：11月1日(月) 19:30～20:30
場 所：農振センター 1階
お問い合わせ：鈴木 (090-2156-7935)